

はっぱをつかって…

○ねらい：秋の自然に触れ、製作を楽しむ。

対象児：3歳児ゆり組
作成者：青木七海
作成日：2025.11.11



いえ～い

○保育の振り返り



ピンクにしょ♪



なんかやぶけそうやなあ…



どんぐりもかわいいね！

秋のお散歩で拾った葉っぱを使って製作を楽しみました。葉を見るなり、「ああ～！これ神社で拾ったやつや！」と嬉しそうに声を上げる子ども達。教材研究では、クレパスや絵の具を使ってスタンプの具合を調節してみましたが高なかなか葉脈が上手く写らず、こする力も必要のため、結果保育者と一緒にスタンプ台を使って葉にインクをつけ、画用紙に乗せて、その上に新聞紙をかぶせて子ども達と一緒にこすってスタンプすることになりました。最初は葉のない部分をこすっている子もいましたが、「ボコボコしてるの、わかる？」という保育者の声掛けによって、新聞紙の上から触っても葉を見つけることができ、「なんかここ硬い！」「どんな模様になるかな～」とワクワクしながら取り組む姿が見られました。スタンプを見て、「鳥の羽みたいや！」「すご！」と興味津々にスタンプする子もあり、子どもの豊かな感性に驚かされました。紙皿で作ったトトロや折り紙で作ったどんぐり、いちょうの葉を貼り付けてできあがりしました。

保育者が準備をしている時から「今日11月の壁面するんやろ～？何作るん？」と声を掛けてくれるようになり、毎月の壁面を楽しみにしてくれているようです。季節や行事、子ども達の発達や興味に合わせた活動を日々考え、「楽しい」「面白い」「不思議」「やってみたい」という気持ちを育み、保育者も一緒に楽しみながら保育を進めていきたいです。（思考力の芽生え、自然との関わり・生命尊重、豊かな感性と表現）